



国鉄闘争 全国運動 6・15全国集会

6月15日(日) 午後1時30分 (開場 午後1時)

千葉市民会館 大ホール

千葉市中央区要町1-1 / JR千葉駅東口
より徒歩7分、京成千葉駅より徒歩10分

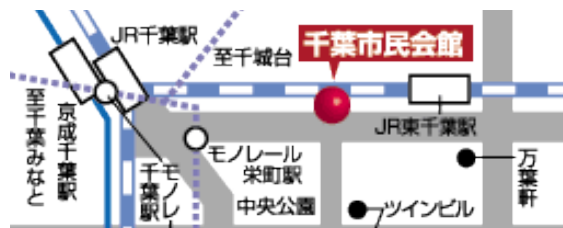
戦争・改憲攻撃と闘い抜いてきた国鉄1047名解雇撤回闘争

国鉄分割・民営化は戦後最大の労働運動解体攻撃でした。当時の中曽根首相はその狙いを「国労をつぶし、総評・社会党を解散に追い込むことを明確に意識してやった」「お座敷をきれいに立派な憲法を安置する」と公言しました。改憲・戦争国家化のために国家を挙げて労働運動を解体するという国家的不当労働行為でした。

国鉄1047名解雇撤回の闘いは、この攻撃との対決です。私たちは、JR不採用＝1047名解雇の基準そのものが「不当労働行為」であることを最高裁で確定させ、その責任がJR自身にあることも暴き出しました。同時に、JRが30年以上にわたって偽証を続け、真実を隠し続けてきたことも完全に明らかになりました。あらためて開始した現在の裁判闘争は「すべての審理をやり直せ」という闘いです。

発言

基調報告 関道利 (動労千葉委員長)
国鉄1047名解雇撤回の訴え
廃線化との闘い / JR職場の闘い
職場・地域からの闘いの報告
国際連帯・海外からのアピール



どなたでも参加できる集会です

呼びかけ 国鉄1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動 (国鉄闘争全国運動)

千葉市中央区要町2-8 D C 会館 043 (222) 7207

東京地裁は「時効」の一点で、J Rの偽証も何もすべて免罪する許しがたい判決を出しました。闘いの方は東京高裁に移り、いよいよ裁判が始まろうとしています。

中国侵略戦争阻止！ トランプ・石破打倒の反戦闘争を



私たちは大きな歴史の岐路に立っています。トランプ関税が世界を激震させ、大混乱に陥れています。「関税延期」はむしろその本質を浮かび上がらせました。「没落するアメリカ帝国主義の延命をかけて中国を叩きつぶす」という本質です。

一方、世界中の労働者民衆の怒りの闘いが燃え上がっています。全米・全世界でトランプ関税への抗議闘争が巻き起こり、イーロン・マスクへの怒りからテスラ車には「ナチス・カー」とペンキ書きされたり、火をかけられるということまで起きています。

トランプ関税は早晚破綻せざるを得ません。石破政権も迷走しながら、結局、現金給付も減税もできず、なす術を失っています。こうした出口のない危機が、帝国主義の最後の延命策、としての戦争を生み出します。

だからこそ、この時代に何としても労働運動を再生させなければなりません。

韓国では、ユンソンニョルの非常戒厳に対して即座に人びとが闘いがに立ち、わずか6時間で粉碎しました。それから123日、ついにユンソンニョル罷免をかち取りました。民主労総はその闘いの先頭に立ち、「これから民主労総は新たな闘争に打って出る」「社会大改革を実現しよう」との声明を発しています。

この決起に応え、巨大な反戦闘争の登場と階級的労働運動の再生をかちとりましょう。

連合を打倒する階級的労働運動を！

戦争情勢下で、労働者の雇用と生活の破壊はいつそう激しくなっています。さらに、労働政策、社会保障政策の根本的な転換攻撃が、「国家の存亡のかかった問題」として仕掛けられています。労働組合こそ国家主義や排外主義と対決し、戦争反対の闘いの先頭に立たなければなりません。

その中で連合の果たしている役割は犯罪的です。賃上げ闘争を完全に放棄し、自民党にべったり擦り寄り、軍需産業や戦争政策に深く関与しているのです。歴史の岐路にたつ今、連合結成の出発点である国鉄分割・民営化に労働者の側から決着をつける闘いは、まさに「いま現在の攻防点」です。

闘いは「勝利まであと一步」です。「1047名解雇撤回」の新たな署名運動も開始しました。国鉄闘争に勝利し、反戦闘争と階級的労働運動を荒々しく甦らせましょう。6・15集会にぜひ結集してください。そして11月労働者集会のさらなる飛躍をともにかちとりましょう。